

# 統計学 練習問題

## 第 25 回 統計的検定 (5)

2009 年 7 月 13 日

以下の各問の解答の文章を完成させよ。ただし、[ ] には式、\_\_\_ には語句、\_\_\_\_\_ には数値が入る。

問 1 ある高校で数学の試験をおこなった。この成績が A 組と B 組で差があるかどうかを調べるために、各組から 8 人ずつ取り出して成績を調べたところ、A 組は算術平均 65 点、標準偏差 10、B 組は算術平均 57 点、標準偏差 8 であった。A 組と B 組の成績に差があるであろうか。母分散は等しいとみなして仮説検定をおこなってみよ。

(解答) 「A 組の成績と B 組の成績に差がない」という検定仮説に対し、「A 組の成績と B 組の成績に差がある。」という対立仮説を考える。A 組全体の算術平均を  $\mu_1$ 、B 組全体の算術平均を  $\mu_2$  とし、 $M = \mu_1 - \mu_2$  とすると、 $H_0 : [ ]$  vs.  $H_1 : [ ]$  という検定をおこなうこととなる。

母分散がわからないが、等しいとみなせるので、 $t = [ ]$  が自由度 [ ] の \_\_\_\_\_ 分布にしたがう。

自由度 [ ] の t 分布の  $t_{0.95} = [ ]$  なので、 $[ ] \leq t \leq [ ]$  のとき、検定仮説を採択し、 $t < [ ]$  または  $t > [ ]$  のとき検定仮説を棄却(対立仮説を採択)する。

$H_0$  が正しいとみなして統計量を計算する。母分散の不偏推定量  $\hat{\sigma}^2$  は

〈途中の計算をここでおこなうこと〉

$$\hat{\sigma}^2 =$$

となるので、これを用いて統計量を計算すると

〈途中の計算をここでおこなうこと〉

$t = [ ]$  となるので、[ ] となり検定仮説を \_\_\_\_\_ する。

よって、\_\_\_\_\_

問2 2009年6月の「政治意識月例調査(NHK実施)」の結果、麻生内閣の支持率は29%であった。2008年5月におこなった同様の調査の結果は35%であった。麻生内閣の支持率は5月に比べて下落したといえるであろうか。有意水準5%で検定せよ。ただし、両調査ともサンプルは1000人であるとする。

(解答) 「内閣支持率は変化していない」という検定仮説に対し、「内閣支持率は下落した」という対立仮説を考えるので、5月の母集団の内閣支持率を $p_1$ 、6月の母集団の内閣支持率を $p_2$ とし、 $M = p_1 - p_2$ とすると、

$$H_0 : \left[ \begin{array}{c} \\ \end{array} \right] \text{ vs. } H_1 : \left[ \begin{array}{c} \\ \end{array} \right] \text{ という検定をおこなう。}$$
$$z = \left[ \begin{array}{c} \\ \end{array} \right] \text{ が } \text{_____} \text{ 分布にしたがう。}$$

よって、 $z \geq \boxed{\quad}$  のとき、検定仮説を採択し、 $z < \boxed{\quad}$  のとき検定仮説を棄却(対立仮説を採択)する。

$H_0$  が正しいとみなして統計量を計算する。ただし、 $p$  は  $\hat{p}_1$  と  $\hat{p}_2$  をプールした

$$p = \frac{\boxed{\quad} + \boxed{\quad}}{2} = \boxed{\quad}$$

を使うと

〈途中の計算をここでおこなうこと〉

$$z = \boxed{\quad} \text{ となるので、} \left[ \begin{array}{c} \\ \end{array} \right] \text{ となり検定仮説を } \text{_____} \text{ する。}$$

よって、\_\_\_\_\_